

# 急性膵炎入院患者における入院最初の3日間の経腸栄養実施割合

## 指標の意義

急性膵炎入院患者における入院最初の3日間の経腸栄養実施状況を把握する。

## 指標の定義・算出方法

- ・必要データセット：DPC様式1、EFファイル
- ・分子：入院3日以内に経腸栄養（鼻腔栄養により定義）を実施された症例
- ・分母：急性膵炎で入院し退院した中等症から重症例（軽症例を除く）
- ・分子÷分母（単位：パーセント）

### 分母の定義

- 解析期間に退院した症例を対象とする。
- このうち、もっとも資源を投入した傷病および入院の契機となった傷病名に下記のICD-10コードが該当すれば対象とする（疑い病名は除く）。

ICD-10 コード	病名
K85	急性膵炎

- このうち、軽症膵炎は除外する。

様式1の急性すい炎の重症度分類（A. 予後因子合計点数、B. 造影剤CT重症度スコア合計点数）について、Aが3~9、あるいはBが2~4で記載されている場合に中等症から重症の症例として分母の症例とする。ただし、AとBが両方とも9

「99」で入力されている症例は不明例として除外する。

### 分子の定義

- 入院から3日以内に経腸栄養が実施されている症例  
入院から3日以内にJ120「鼻腔栄養」の算定があるもの

レセ電コード	行為名称
140023210	鼻腔栄養

## 測定上の限界・解釈上の注意

早期の経腸栄養（EN）は感染症合併率を軽減させるとして推奨されているが、一方で、経口摂取の再開により膵炎が再開する場合もあり早期から経口摂取が開始されている症例は軽症例であると考えられる。このため、本指標は当初、食事療養がされている症例について除外していたが、流動栄養剤を食事として算定すると考えられ、2016年1月に定義の改訂を行い、様式1の重症度を用いて軽症症例を除外することにした。

レセ電コード	行為名称
197000110	入院時食事療養（1）
197000710	入院時食事療養（2）

胃管からのENが十二指腸を超えた部分でのENと同等に安全であるかは明確にはされていないが、ガイドライン上薦められているENを積極的に行っている病院では、十二指腸胃炎での栄養が行われていることが予想される。

参考J120鼻腔栄養に関連する栄養処置に関する通知（抜粋）：

患者が経口摂取不能のため、薬価基準に収載されている高カロリー薬を経鼻経管的に投与した場合は鼻腔栄養の所定点数及び薬剤料を算定し、食事療養に係る費用又は生活療養の食事の提供たる療養に係る費用及び投薬料は別に算定しない。

患者が経口摂取不能のため、薬価基準に収載されていない流動食を提供した場合は、鼻腔栄養の所定点数及び食事療養に係る費用又は生活療養の食事の提供たる療養に係る費用を算定する。この場合において、当該保険医療機関が入院時食事療養（I）又は入院時生活療養（I）の届出を行っているときは入院時食事療養（I）又は入院時生活療養（I）の食事の提供たる療養に係る費用を、さらに、特別食の算定要件を満たしているときは特別食の加算をそれぞれ算定する。

# 急性膵炎入院患者における入院最初の 3日間の経腸栄養実施割合

## 考察

最小値～最大値 0% 回答病院 68

すべて外れ値となっていますが、実施施設が3病院あります。軽症を除く急性膵炎の症例は36施設で153例、最も多い施設で19例です。そのうち入院3日以内に経腸栄養を実施したのは4例のみですが、経腸栄養剤（薬剤）を用いたケースがカウントされていない可能性があります。

国内の疫学調査の結果でも、普及率が低いことが問題になっています。文献2)によると、入院早期の経腸栄養の必要性について、以下のように紹介されています。

重症急性膵炎では、必要エネルギー量の増大が大きく、中心静脈栄養が必要となるケースが多いが、完全静脈栄養は経腸栄養に比較して感染症合併率、多臓器不全発症率や死亡率が高いと報告されており、高カロリー輸液と経腸栄養を早期から併用して行うことがガイドライン2010で推奨されていました。その後のメタ解析の結果より、ガイドライン2015<sup>3)</sup>では経腸栄養を早期に開始すれば、合併率発生率を低下させ、生存率の向上に寄与するので、遅くとも入院後48時間以内に開始することが望ましい（推奨度2，エビデンスレベルA）とされています。

## 参考文献

- 1) 急性膵炎診療ガイドライン2010「第3版」重症度の判定は、様式1のデータ「急性膵炎の重症度判定基準（2008年改訂）」に沿う  
A. 予後因子0～93点を重症、2点以下を軽症と判定  
B. 造影CTGrade0～4造影CTGrade2（2点）以上を重症、Grade1以下を軽症と判定します
- 2) 肝胆膵. Vol. 72（6）
- 3) 急性膵炎診療ガイドライン2015「第3版」

# 47：急性肺炎入院患者における入院最初の3日間の経腸栄養実施割合

指標47分母：急性肺炎で退院した症例（軽症者を除く）

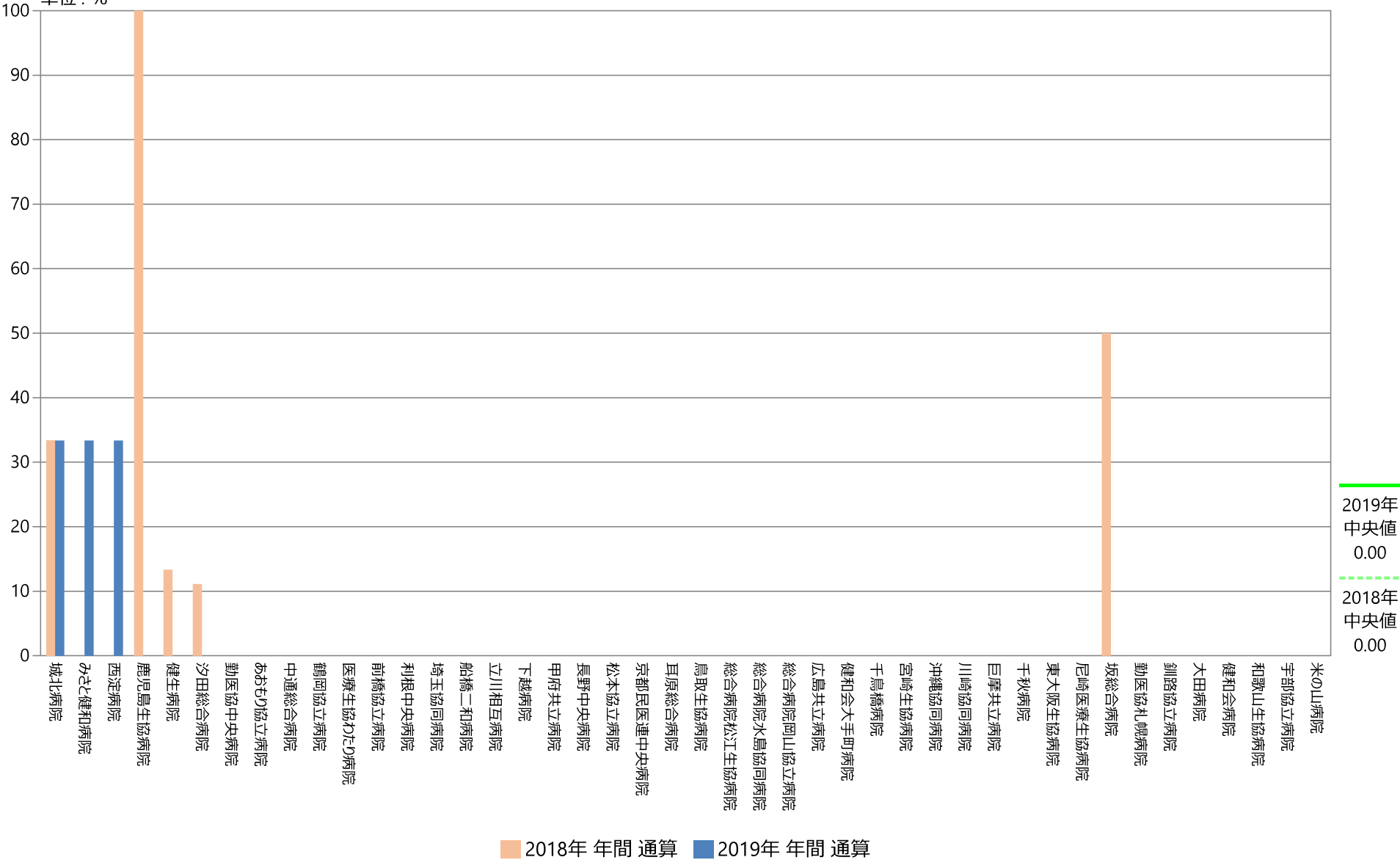
指標47分子：入院3日以内に経腸栄養を実施された症例

指標47：急性肺炎入院患者における入院最初の3日間の経腸栄養実施割合

	指標47分母		指標47分子		指標47	
	件	件	件	件	%	%
	2018年 年間 合計値	2019年 年間 合計値	2018年 年間 合計値	2019年 年間 合計値	2018年 年間 通算	2019年 年間 通算
勤医協中央病院	12	19	0	0	0.00	0.00
勤医協札幌病院	1	0	0	0	0.00	なし
苫小牧病院	0	0	0	0	なし	なし
一栗通病院	0	0	0	0	なし	なし
函館桜北病院	—	—	—	—	—	—
釧路協立病院	1	0	0	0	0.00	なし
健生病院	15	5	2	0	13.33	0.00
あおり協立病院	1	1	0	0	0.00	0.00
川久保病院	0	0	0	0	なし	なし
坂総合病院	2	0	1	0	50.00	なし
長町病院	0	0	0	0	なし	なし
泉病院	0	0	0	0	なし	なし
中通総合病院	2	5	0	0	0.00	0.00
本間病院	0	0	0	0	なし	なし
鶴岡協立病院	1	5	0	0	0.00	0.00
鶴岡協立リハビリテーション病院	—	—	—	—	—	—
至誠堂総合病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
医療生協わたり病院	1	1	0	0	0.00	0.00
前橋協立病院	1	1	0	0	0.00	0.00
利根中央病院	4	4	0	0	0.00	0.00
北毛病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
埼玉協同病院	9	7	0	0	0.00	0.00
埼玉西協同病院	0	0	0	0	なし	なし
熊谷生協病院	0	0	0	0	なし	なし
秩父生協病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
千葉健生病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
船橋二和病院	3	2	0	0	0.00	0.00
柳原病院	—	—	—	—	—	—
みさと健和病院	3	6	0	2	0.00	33.33
小豆沢病院	0	0	0	0	なし	なし
大泉生協病院	0	0	0	0	なし	なし
大田病院	1	0	0	0	0.00	なし
中野共立病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
立川相互病院	7	9	0	0	0.00	0.00
王子生協病院	0	0	0	0	なし	なし
川崎協同病院	0	2	0	0	なし	0.00
汐田総合病院	9	1	1	0	11.11	0.00
下越病院	4	8	0	0	0.00	0.00
富山協立病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
城北病院	3	3	1	1	33.33	33.33
甲府共立病院	7	10	0	0	0.00	0.00
巨摩共立病院	0	1	0	0	なし	0.00
石和共立病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
長野中央病院	4	4	0	0	0.00	0.00
健和会病院	1	0	0	0	0.00	なし
諏訪共立病院	0	0	0	0	なし	なし
松本協立病院	3	4	0	0	0.00	0.00
塩尻協立病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
上伊那生協病院	0	0	0	0	なし	なし
みどり病院	0	0	0	0	なし	なし
三島共立病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
協立総合病院	—	—	—	—	—	—
北病院	0	0	0	0	なし	なし
名南病院	0	0	0	0	なし	なし
名南ふれあい病院	—	—	—	—	—	—
千秋病院	0	1	0	0	なし	0.00
津生協病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
京都民医連あすかい病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
京都民医連中央病院	6	6	0	0	0.00	0.00
東大阪生協病院	0	2	0	0	なし	0.00
西淀病院	2	3	0	1	0.00	33.33
耳原総合病院	2	7	0	0	0.00	0.00
コープおおさか病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
東神戸病院	0	0	0	0	なし	なし
厄崎医療生協病院	0	1	0	0	なし	0.00
おかたに病院	0	0	0	0	なし	なし
土庫病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
和歌山生協病院	1	0	0	0	0.00	なし
鳥取生協病院	2	2	0	0	0.00	0.00
総合病院松江生協病院	2	2	0	0	0.00	0.00
出雲市民病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
総合病院水島協同病院	3	1	0	0	0.00	0.00
玉島協同病院	0	0	0	0	なし	なし
総合病院岡山協立病院	2	2	0	0	0.00	0.00
福島生協病院	0	0	0	0	なし	なし
広島共立病院	1	2	0	0	0.00	0.00
宇部協立病院	1	0	0	0	0.00	なし
徳島健生病院	—	—	—	—	—	—
高松平和病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
愛媛生協病院	0	0	0	0	なし	なし
高知生協病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
健和会大手町病院	8	7	0	0	0.00	0.00
千鳥橋病院	4	1	0	0	0.00	0.00
たたらリハビリテーション病院	—	—	—	—	—	—
米の山病院	1	0	0	0	0.00	なし
みさき病院	—	—	—	—	—	—
上戸町病院	0	0	0	0	なし	なし
くわみず病院	0	0	0	0	なし	なし
大分健生病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
宮崎生協病院	1	2	0	0	0.00	0.00
鹿児島生協病院	1	3	1	0	100.00	0.00
国分生協病院	—	—	—	—	—	—
沖縄協同病院	8	13	0	0	0.00	0.00
中部協同病院	0	0	0	0	なし	なし
とよみ生協病院	NA	NA	NA	NA	NA	NA
最大値(外れ値を除く)	7.00	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00
75%値	3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00
中央値	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
25%値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
最小値(外れ値を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

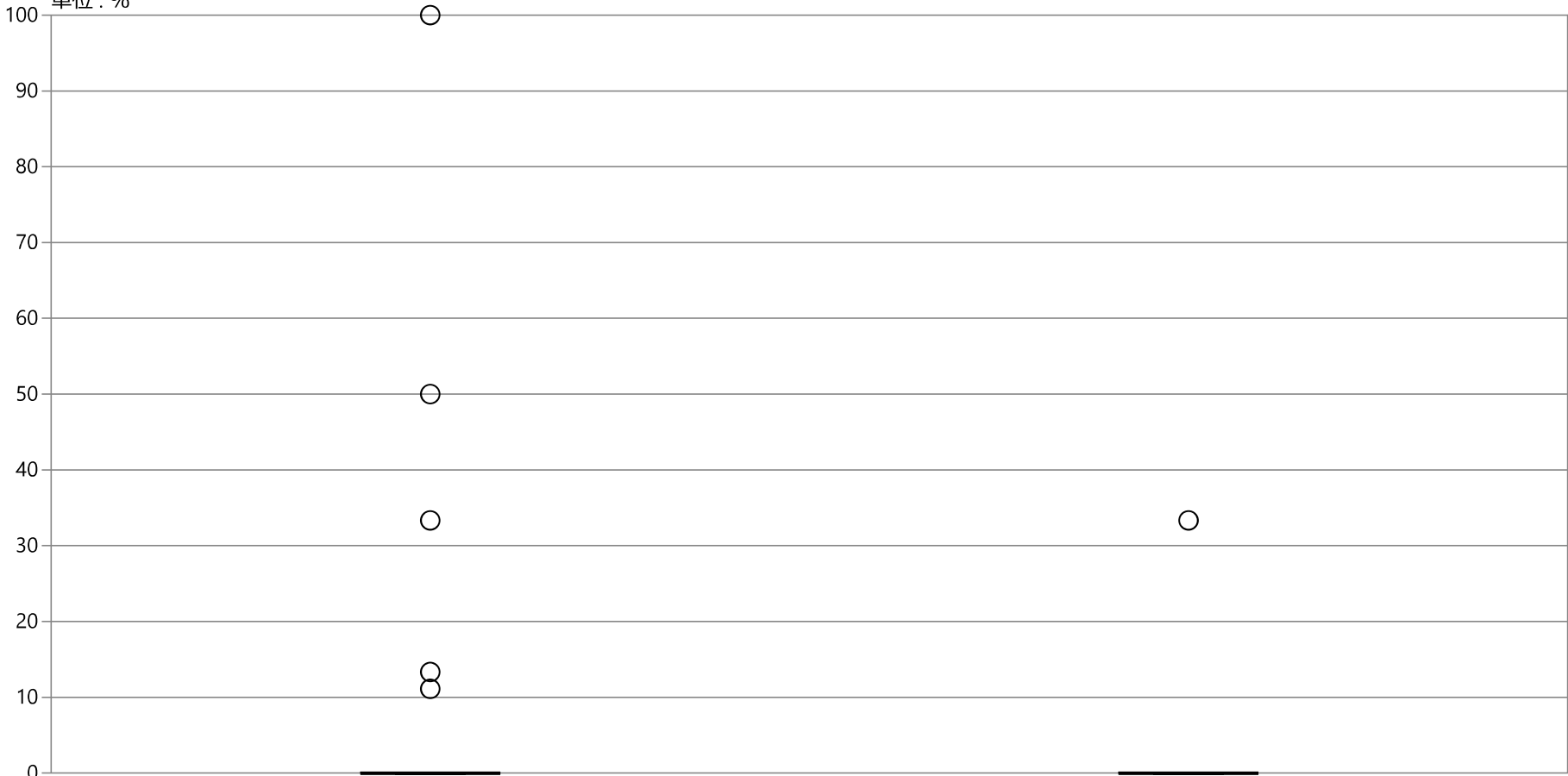
# 指標47：急性膵炎入院患者における入院最初の3日間の経腸栄養実施割合

指標47分母：急性膵炎で退院した症例（軽症者を除く）  
 指標47分子：入院3日以内に経腸栄養を実施された症例  
 単位：％



# 指標47：急性膵炎入院患者における入院最初の3日間の経腸栄養実施割合

指標47分母：急性膵炎で退院した症例（軽症者を除く）  
指標47分子：入院3日以内に経腸栄養を実施された症例  
単位：％



* 外れ値を除く	2018年 年間 通算	2019年 年間 通算
最大値*	0.00	0.00
75%値	0.00	0.00
中央値	0.00	0.00
25%値	0.00	0.00
最小値*	0.00	0.00